

## 自立活動学習指導案

単元名 オリジナルランキングを作ろう

たんぽぽ2組（自閉症・情緒障害特別支援学級）

第1学年 2名 第2学年 3名 第3学年 2名 第5学年 1名 計8名 指導者：後藤 世里香

### 1 本単元で育成する資質・能力

「主体的に学ぶ力」「かかわる力」

### 2 単元観

#### ○学習指導要領のねらい

#### 自立活動学習指導要領の内容

### 3 人間関係の形成

- (2) 他者とのかかわりの基礎に関する事
- (4) 集団の参加への基礎に関する事

### 6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事

#### ○単元観

児童はこれまでに、場面絵を使ったソーシャルスキルトレーニングやお店屋さんごっこ等で相手の気持ちを考えた言葉がけや丁寧な言葉遣い等を学習してきている。4学年8名の異学年集団で自立活動を繰り返し行うことにより、上学年が下学年に積極的に手本を見せたり、下学年の児童が上学年の児童を頼りにして学習したりと、児童同士が関わり合ったり、助け合ったりする姿が少しずつ増えてきている。しかし、まだ学級内の学習や活動内でとどまることが多く、交流学級での学習・活動や普段の生活に生かすという経験はあまりしてきていない。また、自分の考えやまとめたことを発表することに関しては、積極的に行う姿が見られるようになってきたが、相手意識を持って分かりやすく伝えることがまだ十分ではない児童が多い。

本単元では、社会生活に必要なコミュニケーションの大切さや相手意識を持って発表することを学び、活動を通して、学習したことを生活に生かしていく達成感や自信を育てていくことが主なねらいである。

今回交流学級の児童をお願いをしたり、発表をしたりしてほしいと考え、自分がランキングにしたいことについてアンケートを作成し、その結果を発表するという場面を設定した。その場面設定の中で、「どんなお願いの仕方をすればよいのか」「どうすれば相手にわかりやすく伝えることができるのか」を考えさせ、アンケートの準備や集計、発表の練習やまとめることを通して、相手意識をもった発表の仕方や他者と関わるよさについて学んでいく。また、それぞれの学年の算数の学習を生かし、アンケートの集計をグラフにまとめる活動を行い、学習を活動や生活に生かすよさを感じていく。

#### ○児童観

##### <1年 A児>

学校生活に慣れてきて、学習や生活など何事にも意欲的に取り組もうとする姿が多く見られるようになってきた。困ったことやわからないことがあった時に黙り込んだり、動きが止まってしまったりする。また、自分の気持ちや相手の気持ちを想像したり、適切な言葉がけを考えたりすることができるようになってきているが、「うれしい」「かなしい」など発表が単語で完結してしまうことが多い。

##### <1年 B児>

学校生活に慣れ、学級内では、他学年の児童と話をしたり、交流学級内でも友達と話をしたりすることができている。世話好きで友達への優しい声掛け・行動がよく見られる。相手の気持ちを考えたり、道徳の授業では自分の生活をふり返りながら発言したりすることができるが、自分の考えや思いがまとまらないまま自分本位に話すことが多い。

## <2年 C児>

学級内の同学年の児童や教師などの大人に対して話をするができるが、特定の人以外と自らコミュニケーションをとる場面が少ない。2学期の間で友達と遊ぶ機会や学級内の3年生に話しかける場面が増えてきているが、受け身になっていることが多い。国語や道徳の学習で自分の考えを発表する場面では友達の言ったことを繰り返したり、提示した型と同じことを言ったりすることが多く、自分の意見を持ちにくい。

## <2年 D児>

何事にも一生懸命に取り組むことができるが、初めてのことや見通しの持てないことがあると極度の不安を感じ、落ち着きがなくなることがある。教師が近くにいると、自分で考える力はあるが、自信のなさや間違えたくないという思いから教えてもらおうと甘えてくることが多い。特に自分の考えをまとめたり、登場人物の気持ちを想像したりすることが苦手である。交流学級では、まわりの様子をよく見ており、自分が出し切れていない場面も見てとれる。

## <2年 E児>

学習や日頃の活動など何事も楽しんで行う姿が多く見られる。自分から教師や友達に話しかけたり、1年生に連絡帳の書き方や学校のルールを教えてあげたりするなど積極的に人に関わろうとする姿がよく見られる。しかし、自分の思いが強くなりすぎると、自分本位の行動をしたり、嘘やごまかしを言ったりすることがある。発表は積極的に行うことができるが、まとまらないまま話をしたり、書いたりするなどまだ相手意識は十分に持つことができていない。

## <3年 F児>

学級の中では、1年生や5年生など他学年にも自分から声をかけ、仲よくする姿がみられるが、大勢の前や自分の苦手なことに関しては不安や緊張を感じやすく、自信のなさそうな発言をしたり、自分の思いを出すことができなかつたりする。また、言葉や生活経験に乏しいところがある。楽しかったり、自分が苦手なことに直面したりすると落ち着きがなくなる。

## <3年 G児>

F児と同じく、言葉や生活経験に乏しいところがあり、物語の文章や算数の文章題など場面の様子をイメージすることに困難さがある。何事もこつこつと頑張ることができるが、時間がかかつたり、わからなかつたら動きが止まったりする。自信がある単元や問題では積極的に発表するなど活発な姿を見ることができる。

## <5年 H児>

学級内の最高学年ということもあり、授業や学校生活のきまりを守るなど学級の手本となることができている。本人もその自覚をもつことができており、学級内で他の児童に声かけをすることができる。しかし、声かけや注意の仕方がきつい言い方になっていることもあるので、相手の気持ちにたった声掛けの仕方の指導も必要である。真面目で何事もこつこつ頑張ることができるが、こだわりが強い一面もある。

## ○指導観

### <全体>

本単元では、活動を通して、人との関わりや適切な言葉遣い、相手意識を持って発表する方法などを学習し、自分の将来への意識や人と自ら関わろうという意欲を高めていく。

まず、ランキングを作成するにあたって、実際の小学生のランキングやアンケートを見せることで、活動のイメージを持たせるようにする。その後、「どんな準備が必要か」「どんなお願いや発表の仕方をしてほしいか」などを考えさせる。実際にアンケートの依頼をしに行ったり、結果を集計してまとめたことを発表したりするときには、コミュニケーションをとることや相手意識を持つことの大切さ、活動をやり遂げた達成感や自信を感じさせていく。

### <1年 A児>

積極的に活動に参加し、丁寧な言葉遣いで話をするができるようにするために、発表の話型カードを準備し、練習をさせ、自信を持たせる。

### <1年 B児>

相手にわかるように整理して話をするができるようにするために、発表の話型カードを準備し、練習をさせる。

### <2年 C児>

相手の顔を見てコミュニケーションをとることができるようにするために、発表のやりとりの様子を見て、大切なポイントを見つけさせる。

### <2年 D児>

周りとは協力しながら活動に参加し、丁寧な言葉遣いで話をするができるようにするために、話型カードを準備し、練習をさせる。

<2年 E児>

周りとは協力しながら活動に参加し、丁寧な言葉遣いで話をするようにするために、話型カードを準備し、練習をさせる。

<3年 F児>

自信を持って前に出て話をするようにするために、発表の話型カードを準備し、練習をさせ、肯定的な声掛けを行う。

<3年 G児>

自信を持って前で話をするようにするために、話型カードを準備し、練習をさせ、肯定的な声掛けを行う。

<5年 H児>

学級のリーダーとして、友達に声をかけながら活動に参加することができるようにするために、単元を通して、手本となるような役割を持たせ、肯定的な声掛けをする。

### 3 学習指導計画（全8時間）

次	時	学 習 活 動	評 価	評 価 方 法
			評 価 規 準	
一	1	<p><b>課題の設定</b></p> <p><b>情報の収集</b></p> <p>○実際の小学生の好きなもののランキングを見て、自分たちの調べたいものを決める。</p> <p>○ランキングを作るために調べる方法を考える。(アンケート・インタビュー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際のランキングを見て、自分の交流学級で調べたいことを考えることができる。</li> <li>・ランキングを作るために調べる方法を考えることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学ぶ力】</p>	<p>行動観察 発言 シート</p>
二	1・2	<p><b>情報の収集</b></p> <p>○自分の調べたいことについてアンケートを作成する。</p> <p>○アンケートのお願いやインタビューの仕方を知り、練習を行う。</p> <p>○実際にアンケートやインタビューををお願いする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識を持って、自分の調べたいことについてアンケートを作成することができる。</li> <li>・アンケートのお願いやインタビューの仕方を知り、練習することができる。</li> </ul> <p>【かかわる力】</p>	<p>行動観察 発言 アンケート用紙</p>
	3	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○アンケートの結果をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートを集計し、気付いたことやわかったことを算数で学習したことを生かして集計したり、図に表したりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学ぶ力】</p>	<p>行動観察 発言 シート</p>

	4 (本時)	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○アンケートを集計し、わかったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでわかったことについて相手意識をもって発表することができる。</li> <li>・友達の発表のいいところを見つけながら、発表を聞くことができる。</li> </ul> <p>【かかわる力】</p>	行動観察 発言 シート
	5・6	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○インタビューやアンケートをしたことを1枚の新聞にまとめる。</p> <p>○発表練習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで調べたことを読んだり、聞いたりする人にわかりやすくまとめることができる。</li> <li>・発表するときのポイントに気を付けて発表の練習を行うことができる。</li> </ul> <p>【かかわる力】</p>	行動観察 発言 シート
三	1	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を通して、学んだことや自分のがんばりについて振り返ることができる。</li> <li>・人と関わることや相手意識を持って発表することの大切さに気付くことができる。</li> </ul> <p>【主体的に学ぶ力】</p>	行動観察 発言 シート

## 5 本時の展開

### 本時の目標

#### <1年 A児>

- ・すすんで活動に参加し、相手の方を見て聞こえる声で発表をする。

#### <1年 B児>

- ・すすんで活動に参加し、話型カードに沿った丁寧な言葉遣いで発表をする。

#### <2年 C児>

- ・相手意識を持ち、相手の方を見て発表をする。友達の発表のいいところを見つける。

#### <2年 D児>

- ・話型カードに沿って相手に聞こえる声で発表をする。友達の発表のいいところを見つける。

#### <2年 E児>

- ・話型カードに沿った丁寧な言葉遣いで発表をする。友達の発表のいいところを見つける。

#### <3年 F児>

- ・相手意識を持って発表をする。図を指で指し示す。友達の発表のいいところを見つけたり、アドバイスをしたりする。

#### <3年 G児>

- ・相手意識を持ち、相手の方を見て発表をする。友達の発表のいいところを見つけたり、アドバイスをしたりする。

#### <5年 H児>

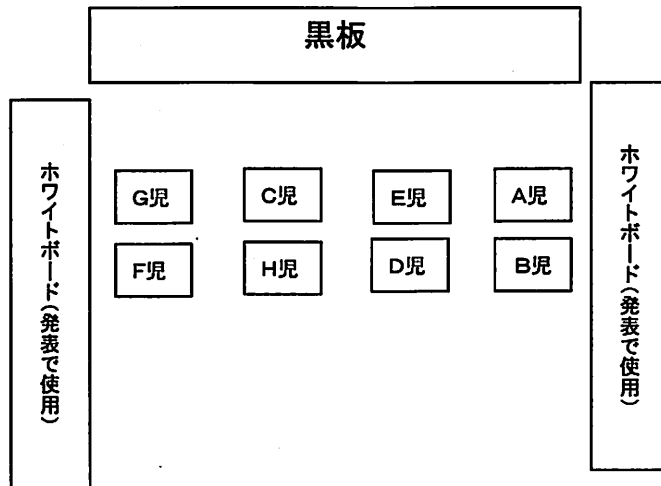
- ・図を指で示したり、相手の反応を見たりしながら相手意識を持って発表をする。友達の発表のいいところを見つけたり、アドバイスをしたりする。

### ○キャリア教育との関連からのねらい

#### 【人間関係・社会形成能力】

- ①話型カード等を用いて発表をする。
- ②相手意識をもって声の大きさ・目線などに気を付けて発表する。

## 5 配置図



(全体で流れを確認後、2グループに分かれてそれぞれ発表を行う。)

## 7 板書計画

め アンケートでわかったことをまとめ伝え合おう。

前時で使用した  
グラフ

### 説明の仕方

アンケートをまとめた結果はこうなりました。

わかったことを○つ説明します。

ここを見ると、(指をさす)△△が一番多いことがわかります。

この結果をみて、～と思いました。

これで説明を終わります。

### 話す時

相手の方を見る。

声の大きさ・はやさ。

ゆびで指し示す。

ことばづかい。

### 聞く時

相手の方を見る。

うなづくなどはんのうをする。

いいところやアドバイスをみつけながら聞く。



